

プラント状況確認結果（平成28年2月2日～平成28年2月9日）

平成28年2月9日
福島県原子力安全対策課

- 平成28年2月2日～平成28年2月9日12時までの期間に、東京電力から福島第一原子力発電所1～4号機のプラント状況に関する報告内容について、県が確認した結果は次のとおりです。

(1) プラント状況（2月9日午前5時）

場所	目的	監視項目	1号機	2号機	3号機	4号機 ^{※2}
原子炉 ^{※1} (核燃料)	冷却	注水量 (m ³ /h)	4.5	4.2	4.2	—
		圧力容器 下部温度(°C)	14.3	19.0	17.3	—
	未臨界確認	キセノン135濃度 ^{※3} (Bq/cm ³) (A系)	1.13×10 ⁻³	検出限界未満	検出限界未満	—
圧力容器	水素爆発防止	窒素充填	充填中	充填中	充填中	—
格納容器		水素濃度 (A系) (体積%)	0.05	0.00	0.07	—
使用済燃料 プール	冷却	水温(°C)	10.8	25.8	17.5	6.8

※1 直近データのみ記載。詳細は[東京電力のページ](#)を御覧下さい。

※2 4号機は原子炉に燃料が入っていないため空欄。

※3 保安規定に定める制限値は、1 Bq/cm³以下である。

(2) 発電所敷地境界におけるモニタリングポストの測定結果（2月9日午前10時）

最小 0.702 (MP-6) ～ 最大 2.550 (MP-2) マイクロシーベルト/時 [⇒計測地点の地図](#)

(3) 発電所専用港内の海水中セシウム137濃度の測定結果（2月8日採取分）

最小 検出限界値未満（物揚場前海水、6号機取水口前海水、港湾口）Bq/ℓ
～ 最大 2.4 (1～4号機取水口内北側海水) Bq/ℓ

(4) 発電所専用港外（沿岸）の海水中セシウム137濃度の測定結果（2月8日採取分）

5,6号機放水口北側に30m：検出限界地未満 ※検出限界値は約0.69 Bq/ℓ
1～4号機放水口から南側に1.3km：検出限界地未満 ※検出限界値は約0.69 Bq/ℓ

(5) 発電所敷地内の大気中セシウム137濃度の測定結果（2月8日採取分）

西門：検出限界未満 ※検出限界値は約1×10⁻⁷ Bq/cm³

(6) 1～6号機タービン建屋付近のサブドレン水中セシウム137濃度の測定結果（2月8日採取分）

最小 検出限界未満 (4号機) ～ 最大 130 (2号機) Bq/ℓ